

2011年 10月30日  
No 1134号  
働くルールの確立で  
人間性の回復を

# 明治乳業争議団 ニュース

発行 明治乳業争議団  
連絡先 〒272-0015  
千葉県市川市鬼高2-6-2  
☎・Fax 047-332-5698  
E-mail mjnyu88sgd@wing.ocn.ne.jp  
HP 明治乳業争議団 ⇒ 検索

## 都労委「全国事件」 来春には「命令」交付

# 11・29

— 明治乳業争議の早期全面解決をめざす —  
**総決起集会への参加ご協力を!**

9月15日、「東京地評争議支援総行動」の明治ホールディングス前、86団体200名余が抗議の声を。

長期に困難な闘いが強いられている明治乳業争議。市川工場事件(32名)の都労委申立から27年目を迎え、10事業所(32名)の全国事件からでも17年が経過します。しかし、全国64名(すでに10名が故人)の争議団は、市川工場事件への最高裁敗訴確定に屈することなく、「このままでは人生終えられない」と「明治乳業の不当労働行為」の差別は絶対に許さない」の決意を一つに団結を深め、全国各地で闘いを前進させています。

食の「安全・安心」と結合した会社社団の闘い、明治乳業の不当労働行為や深刻な差別を、改めて鮮明にした都労委「全国事件」の闘いなど、支援共闘会議を軸に多くのご支援と励ましに支えられながら、困難を分かち合い力を寄せ合って頑張ってきました。

そしていま、全面解決への道筋を切り拓く重要な局面を迎えています。

10月24日に行われた都労委では、会社側証人の反対尋問の終了後に行われた「進行協議」で、和田公益委員より、「本日を待って証人調べを終了とし、11月30日を結審日としたい」旨の審査指揮が

の問題が発生、申立人は、「審査終盤で公益委員が退任とは、迅速・正確な判断が求められる労働委員会の使命にも逆行する」と主張、「心象形成がされている公益委員が命令に責任を持つべき」と要求実現したものです。今後、現公益委員の任期が切れても「命令」に深く関わることとなります。

争議団・支援共闘会議・弁護団は、この機を逸しず「勝利命令に向けた闘いと、会社を決定的に包囲する闘い」を一気に進める決意を固めました。

不当労働行為・差別事件の最後に残された全国的大型争議である明治乳業争議。全面解決への道筋を切り拓く、表記「11・29総決起集会」への、多くの皆さんの参加ご協力を心からお願いします。

あり、申立人、会社(株)明治ともにこの提案を了承しました。これは、全国の事件の審査が最終盤を迎える中で、「担当公益委員が11月(月末)で退任」と

平和と労働センター 全労連会館

○日時 11月29日(火) 午後6時30分～8時30分  
○場所 全労連会館2階大ホール (文京区湯島2-4-4)

◇JRお茶の水駅から徒歩8分  
◇地下鉄お茶の水駅から徒歩7分  
◇地下鉄本郷駅から徒歩12分

## 冬季物販の購入にご協力を

日頃のご支援に心より感謝申し上げます。  
「明治乳業争議と震災・復旧復興支援」への夏季物販にご協力いただきありがとうございました。還元金から5%に当たる5,372円を義援金として拠出させていただきます。

誌面、一面でも訴えさせていただいていますが、明乳争議も27年目を闘って、局面はいよいよ大きな山場を迎えようとしています。これからの一年は、27年間の熱い思いを凝縮した闘いと決意しています。引き続き同主旨による「冬季物販」を取り組んでおります。皆様方からの一層のご支援を宜しくお願い申し上げます。



### 明乳争議と私

市川労連議長  
中陣春夫さん

まずは紙面をいただいて嬉しい思いです。市浦労連に参加して8年間の間、米元さん、大井さんや村山さんはじめ明乳争議団の皆さんの個性に接しつつ、闘いは団結と統一の原則性を貫き、且つ多くの人々との連帯の輪を築く、そんなことを何度も垣間見、羨ましく敬意さえ感じています。



中陣春夫さん

その後、争議の歴史を裁判資料や山形暎子さんの一文から知り、ほぼ同時代人として描いた姿は、私と同じように忘れ難い「田舎」を胸に抱きながら「都会」生活で形成していった労働者観と、60年代70年代の世の中から培った社会観世界観の青年時代だったのではないかということ。私自身一日に二つ三つの仕事で過ごした4年間は市川でしたから、その時代と同じ市川でも思うのです。

実は、80年代の浦安での選挙戦で一緒したのが小関さんで、中学生と組合に格闘していたので、明乳争議のことは知らずの日々。いまは闘いに敬服しております。

### 訃報

ご冥福を祈ります  
市川工場申立人  
久保政宣さん逝去



久保政宣さん

市川工場事件申し立てより、27年間闘い続けた久保政宣さんは9月20日、突然心臓病で静かに旅立ちました。

例えば、素朴で少々頑固の東北は青森県出身で、若いころ千葉県勤労者学校や通信教育を卒業し、申立人の基礎を作り出しました。海釣り、外国旅行などの仲間も多く誰とでも親しく楽しい人でした。

定年後も、争議団員として活動を続けていきましたが、反面体調不良とのたまたまいでもありません。「久保ちゃん」、ご苦勞様でした。これからは好きなお酒を飲み、得意な青森民謡を唄ってください。必ず、吉報を報告します。長い間、ご苦勞様でした。

### 団員の横顔

「全国事件」  
大阪申立人  
七枝敏さん



七枝敏さん

大阪の皆は彼のことを「ビンちゃん」と呼ぶ。九州は宮崎育ちの好男子である。スポーツ万能で野球サークルで活躍。会社はサークル活動を嫌い、練習日や試合の日には休みを取る事を妨害し、わざわざ別に野球部を結成してサークルにまで楔を打ち込んだ。

「ビンちゃん」は仕事も活動も実に真面目にコツコツとこなす。そんな彼だから皆からの信頼も厚く、常に組合役員にも立候補し続けた。大阪での「思想差別裁判」では原告として一年半たたかひ続け、勝利和解を勝ち取った。そんな「ビンちゃん」が再び都労委の申立人として頑張り続けている。

日頃は物静かでコツコツの「ビンちゃん」がカラオケを歌い、一杯やりながら熱く語る姿は魅力だ。今は、信貴・生駒連峰を一つ越えた、大阪よりはちよつとだけ空気の良い奈良県で奥さんと二人暮らし。ゆつくりできるかと思いきや、奈良の皆がそうはさせてくれない。

奈良の地元で車を走らせて地域運動の毎日を送っている。

労働組合と会社との関係で最も基本的な問題は、それぞれが対等平等の立場で労働条件・賃金などを協議する体制と姿勢を確立し実行することに、どれだけ力を注ぎ努力するかにあります。

食品一般ユニオンは、この基本的事項を(株)明治との最初の団体交渉で第一項として要求しました。

これに対し会社は当初「事前協議については」法的な面から判断して、考えておりません」などと回答。その後、何回かの協議のなかで労使協議の解釈と認識の差を、双方がいていねいに埋めあい理解するなか、前回団体交渉では「団体交渉の申入れがあれば誠実に応じる」という回答が会社から出され、ほぼ合意することができました。



労働組合の大小、形態の如何にかかわらず当然のことであり、今後、組合員の要求・労働条件などで協議する機会が大きく広がるこ

とになりました。

一方、他の団交要求では、長期労働争議となっている「賃金格差是正」の争議解決を求めています。会社はこの項については「団交の対象外である」と、一貫してハネつけており、当面突破しなくてはならない重要な協議事項となっています。

放射能汚染と「食の安全」で協議を要請!

原発事故による食品への放射線汚染が大きな社会問題となっています。

(株)明治の学校給食牛乳からもセシウムが検出されました。

当ユニオンでは、食品大手メーカーである明治には、放射能汚染から国民・消費者を守り、真に「食の安全」に寄与する大きな責任ある者として今後、団交議題として協議することを要請しました。

「放射能汚染と私たちの健康」

「僕、大人になれますか…。」  
「私、大人になって子供を産んでもいいですか…。」  
子どもたちの安全と未来のために

「僕、大人になれますか…。」「私、大人になって子供を産んでもいいですか…。」

こんな質問を、子どもたちや孫からされたら、何と答えたらいいのだろう。

「原発」が存在する限り、私たちは決してその恐怖から逃れることはできません。

いま、子供たちを取り巻く環境は、とても深刻です。「ホットスポット」と言われる所は、大きな単位だけにとどまらず、安全だと思っている小さな地域単位にも、「吹き溜まり」、雨水がたまるどころ、枯葉の集積場など、高い放射能が測定され、子供たちの通学路、遊び場の公園や広場にも



多数存在します。

「牛乳の放射能汚染なぜ、乳業メーカーは放射能の測定値を公表しないのか!!!」

頑なに、拒否していた(株)明治も、多くの世論に押されて、放射能検査を実施しました。

東京の町田市の「吉田つとむ」市議の質問に「(株)明治」は、「放射能検査を実施している」と答えています。

「測定値は政府の暫定値を下回っているから安全です」と答え、その数値は公表しないと無責任な態度に終始しています。

先般、せっかく牛乳の中に含まれる「ラクトフェリン」に「放射線防護効果を確認」とニュースがあったばかりですが、「放射能は低線量でも有害」ということは、今や世間の常識、これでは牛乳を飲むことができません。

政府は一刻も早く「ケイラーステーション」での放射能測定を酪農家単位で行うべきですが、乳業メーカーは、消費者の安心・安全のためにも率先して放射能測定値を、迅速に広く公表すべきです。



都労委では必ず勝利命令を  
そして、全国事件・市川工場事件の  
一挙解決をめざします



明治は、差別やめろ

「証言」などから受けた心象は、その場にいる人しか分かることのできない事であり、「記録」の行間には命令内容を左右する大きな心象形成が存在します。

私たち、争議団、支援共闘会議、弁護団はこうした判断に立ち、

「全国事件」の都労委は、今季限りの退任が決まった公益委員の下で、急転回となりました。

私たちが争議団は、公益委員の退任情報が入ってから数度にわたって労働委員会や公益委員に任期延長を求めてきましたが、残念ながらそのことは動かすことのできない事実として受け止めなければなりませんでした。

しかし、「命令」の内容は、記録に頼るだけでは、決して正しくありません。幾度となく開かれた審問での「証言」などから受けた心象は、その場にいる人しか分かることのできない事であり、「記録」の行間には命令内容を左右する大きな心象形成が存在します。

私たち、争議団、支援共闘会議、弁護団はこうした判断に立ち、

「全国事件」の都労委は、今季限りの退任が決まった公益委員の下で、急転回となりました。

私たちが争議団は、公益委員の退任情報が入ってから数度にわたって労働委員会や公益委員に任期延長を求めてきましたが、残念ながらそのことは動かすことのできない事実として受け止めなければなりませんでした。

しかし、「命令」の内容は、記録に頼るだけでは、決して正しくありません。幾度となく開かれた審問での「証言」などから受けた心象は、その場にいる人しか分かることのできない事であり、「記録」の行間には命令内容を左右する大きな心象形成が存在します。

私たち、争議団、支援共闘会議、弁護団はこうした判断に立ち、



27年間を凝縮した闘いへ!

明治は、放射能入りの牛乳を売るな。

11月30日が決定しています、予測される命令交付は来春早々が予測され、私たちは残された短期間の闘いは、争議を初めて今日まで27年間の歳月を凝縮した闘いと決意しています。

皆さんの、一層のご支援を強くお願いするものです。

「千葉県支援共闘会議」主催で浅野社長宅へ  
宣伝・要請行動

への抗議を含め、直接社長宅に要請を行う行動であり、今年2月・3月に続く3回目です。行動には38名が参加し、6班のハンドマイク隊に分かれて辻宣伝(合計54ヶ所)を行い、2300枚のチラシを社長宅周辺一帯にポスティング

9月25日、しました。

千葉県支援共闘会議の主催で、千葉県松戸市在住の(株)明治「浅野茂太郎社長宅」への宣伝・要請行動が行われました。

これは、社前要請行動の一切を拒否している会社対応への抗議を含め、直接社長宅に要請を行う行動であり、今年2月・3月に続く3回目です。行動には38名が参加し、6班のハンドマイク隊に分かれて辻宣伝(合計54ヶ所)を行い、2300枚のチラシを社長宅周辺一帯にポスティング

要請書も受け取れないの...! 製品の信頼にも関わる非常識よっ。



人間らしい生活を